

| | | | |
|-------|-----|-----|--------|
| 開講期間 | 配当年 | 単位数 | 科目必選区分 |
| 半期 | 1年 | 2 | 選択 |
| 担当教員 | | | |
| 田中 敬幸 | | | |
| | | | |

| | |
|-------------------------|--|
| 授業のねらい（概要） | <p>授業の概要</p> <p>経営学特論の講義では、組織行動論を中心に学部での経営学の基礎を復習すると同時に、応用編として論文を読み進めていきます。論文は、履修者の関心のあるテーマに関連するものを選びます。</p> <p>この授業を通して経営学の知識を確かなものとし、教科書に加え、多くの論文を読むことで、修士論文の執筆に向けての準備をしていきます。</p> |
| 授業計画 | <p>第1回：組織行動論とは</p> <p>第2回：組織の中の個人</p> <p>第3回：動機付けの基本的なコンセプト</p> <p>第4回：組織の中の集団</p> <p>第5回：チームとクオリティマネジメント</p> <p>第6回：動機付け：目標による管理、従業員の巻き込みプログラム</p> <p>第7回：個人の意思決定</p> <p>第8回：組織内のコミュニケーション</p> <p>第9回：リーダーシップ</p> <p>第10回：コンフリクトと交渉</p> <p>第11回：組織構造の基礎</p> <p>第12回：組織文化、企業文化</p> <p>第13回：人材管理</p> <p>第14回：組織変革と組織開発</p> <p>第15回：企業の社会的責任（CSR）</p> <p>予習（時間）：テキストを読み理解できない箇所を明らかにしておく（120）</p> <p>復習（時間）：授業で扱った内容を踏まえて、テキストを再度読み直す（120）</p> |
| 授業を通して身に付けることができる能力（DP） | <p>この授業では、DPに記載のある「実践的な問題解決能力及び管理運営能力を養い、知識基盤社会を支える高度で知的な素養」を身につけるための授業です。</p> <p>【身に付くスキル】 「職業倫理観」「論理的思考力」</p> |
| 到達目標 | <p>経営学の基礎を復習し、知識を確かなものとする</p> <p>組織行動について理解すること</p> <p>各自の研究テーマと関連させて、経営学を理解すること</p> |
| 課題や小テスト等のフィードバックの方法 | 授業の中で学生の発表に対するフィードバックをおこないます。 |
| 履修上の注意 | 経営学の基礎的な知識を前提に本を読み進めます。授業へは毎回、問題意識を持って臨んで下さい。後半では、英語の文献を希望する学生の要望も受け入れますので、読みたい論文等をご相談下さい。 |
| 成績評価の方法・基準 | 授業中の発表およびレポート 100% |
| 教科書 | 組織行動のマネジメント—入門から実践へ ISBN番号：4478004595 著者名：スティーブン P. ロビンズ 出版社：ダイヤモンド社 発行年：2009年 価格：3024円 |
| 参考書・教材 | |
| 備考 | 講義科目 |
| 教員との連絡方法 | Melly |